



SGホールディングス株式会社

2020年4月30日

## 2020年3月期連結決算について

SGホールディングス株式会社(本社:京都市南区、代表取締役会長:栗和田榮一)は本日、2020年3月期連結決算を発表しましたので、お知らせいたします。

### <2020年3月期連結業績>

当社グループでは、中期経営計画「Second Stage 2021」の初年度として、グループ横断の先進的ロジスティクスプロジェクトチーム「GOAL®(GO Advanced Logistics)」(以下「GOAL®」という)による提案領域の拡大を図ってまいりました。また、同業他社や異業種を含むベンチャー企業等との業務提携のもと、お客様の幅広いニーズに対応するソリューションの提供や事業領域の拡大に努めてまいりました。

当社グループの中核事業であるデリバリー事業においては、あらゆる「運ぶ」で付加価値を提供する「TMS (Transportation Management System)」(以下「TMS」)をはじめとする「GOAL®」による営業の強化や、継続的な適正運賃収受に取り組みました。ロジスティクス事業においては、新規・既存の受託案件増により国内外ともに増収も、拠点見直しによる費用増や感染症の影響等により減益となりました。不動産事業においては、継続的に保有不動産の売却をいたしました。その他の事業は、決済方法の多様化による代引決裁の減少や、消費税率引上げ後の新車・中古車販売の減少により減収減益となりました。

### ■ 連結業績結果

	2019年3月期 実績	2020年3月期	
		実績	前期比
営業収益	11,180億円	11,734億円	105.0%
営業利益	703億円	754億円	107.2%
経常利益	747億円	805億円	107.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	434億円	472億円	108.8%

### ＜2021年3月期連結業績予想＞

当社グループにおきましては、社会インフラの一部を担う物流企業グループとして、お客様に最適な物流ソリューションを提供すべく、グループ一体となった付加価値サービスの更なる強化や経営基盤の強化に取り組んでまいります。当社グループの2021年3月期の連結業績見通しは、感染症の拡大により先行きが不透明であるものの、足元の状況を踏まえて営業収益は12,000億円、営業利益は785億円と見込んでおります。

また、当社の持分法適用会社である株式会社日立物流が2021年3月期の連結通期業績見通しを非開示としたため、中期経営計画で見込んでいた数値を参考に作成しております。

#### ■ 連結業績予想

	2020年3月期 実績	2021年3月期	
		予想	前期比
営業収益	11,734億円	12,000億円	102.3%
営業利益	754億円	785億円	104.0%
経常利益	805億円	825億円	102.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	472億円	485億円	102.6%

### ＜中期経営計画の経営目標＞

2020年3月期の業績をふまえ、中期3か年計画の3年目となる2022年3月期の現状の見通しを以下のとおりとしました。

#### ■ 2022年3月期の見通し

	当初予想 (2019年 4月26日発表)	2022年3月期 予想	差額
営業収益	12,130億円	12,300億円	+170億円
営業利益	740億円	800億円	+60億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	455億円	490億円	+35億円

## &lt; 配当予想 &gt;

2021年3月期の配当予想につきましては、以下の通り予定しております。

## ■ 2021年3月期配当金予想

	2020年3月期	2021年3月期 予想
	1株当たり配当金	
第2四半期末	22円00銭	22円00銭
期末	22円00銭	23円00銭
合計	44円00銭	45円00銭

SGホールディングスグループは、純粋持株会社SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

## &lt; 報道関係お問い合わせ先 &gt;

SGホールディングス(株) 経営企画部 広報ユニット

tel:03-5677-1587 fax:03-5677-1515 mail:sgh\_pr@sg-hldgs.co.jp



**2020年3月期  
決算説明資料**

2020年4月30日  
SGホールディングス株式会社

---

<b>1.</b>	<b>2020年3月期 決算概要</b>	<b>1 ~ 9</b>
2.	2020年3月期の取組み	10 ~ 13
3.	2021年3月期 業績予想	14 ~ 20
4.	参考資料	21 ~ 24

## 2020年3月期のハイライト

適正運賃収受により平均単価は堅調に上昇し、TMS<sup>(1)</sup>と共に営業収益を押し上げた。  
下期以降の社会環境の変化により下期の個数は減少したもののコストコントロールにより増益。

### ●（業界関連）

- ・ 労働需給の逼迫や賃金上昇傾向の継続により、輸送品質の維持コストは増加傾向
- ・ eコマース市場の拡大継続による、デリバリープロバイダーの台頭と物流自社化の動き
- ・ 新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」とします)拡大の影響

### ●（2020年3月期の概況）

- ・ 先進的ロジスティクスプロジェクトチーム「GOAL<sup>®</sup> (2)(GO Advanced Logistics)」によるTMSなどの高付加価値サービスの提供が堅調に推移
- ・ IT化によるセールスドライバー<sup>®</sup> (2)の負荷軽減、商宅分離の推進
- ・ 働き方改革と輸送品質向上の取組みを継続
- ・ 機械化・省人化等生産性向上の取組みが進展
- ・ 消費税率の引上げ、競争環境の変化等を受け、下期の取扱個数は前年を下回る

注記 (1) TMS:Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (2) 「GOAL」、「セールスドライバー」はSGホールディングス株の登録商標

## 連結業績サマリー

(億円)	2019年3月期	2020年3月期	前期比	(参考) 2019年10月31日公表 連結業績予想	(参考) 予想対比
営業収益	11,180	11,734	105.0%	11,850	99.0%
営業利益 (営業利益率)	703 ( 6.3% )	754 ( 6.4% )	107.2%	750 ( 6.3% )	100.6%
経常利益	747	805	107.7%	800	100.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	434	472	108.8%	470	100.6%
EBITDA	913	988	108.2%	990	99.9%

注記: 億円未満切り捨て

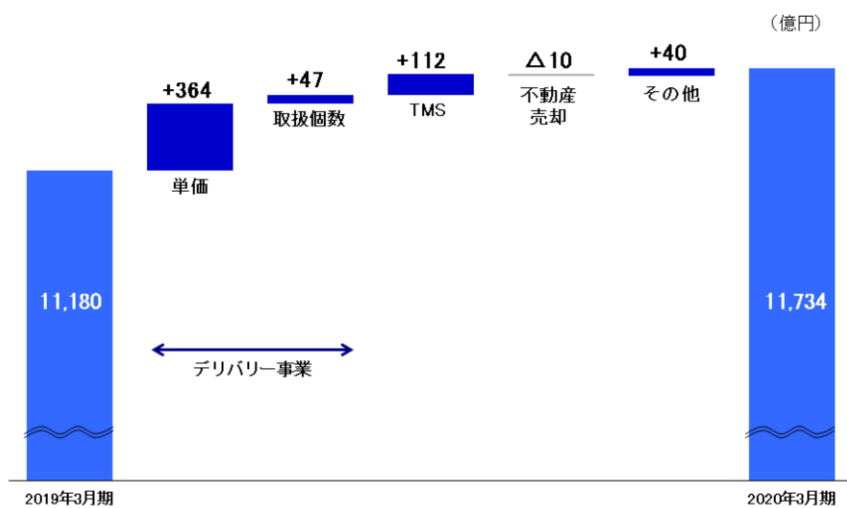
Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

### ■ 当社グループの業績（前期との比較）

- 営業収益 : + 554億円 (105.0%)
- 営業利益 : + 50億円 (107.2%)
- 経常利益 : + 57億円 (107.7%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : + 38億円 (108.8%)
- EBITDA : + 75億円 (108.2%)

## 営業収益の増減分析



注記: 億円未満切り捨て

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

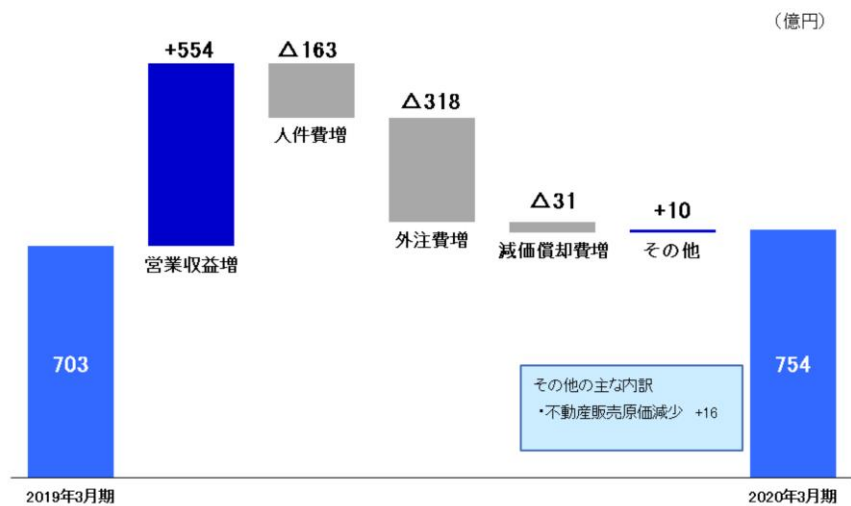
4

### ■ 2020年3月期実績

- 平均単価 : 641円 (前期比 104.5%)
- 取扱個数 : 1,315百万個 (前期比 100.6%)
- TMS : 887億円 (前期比 114.5%)



## 営業利益の増減分析



注記: 億円未満切り捨て

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

### ■ 2020年3月期実績

- 営業収益 : 1兆1,734億円 (前期比 105.0%)
- 人件費 : 4,053億円 (前期比 104.2%)
  - 継続的なインフラ強化により適切にコントロール
- 外注費 : 5,093億円 (前期比 106.7%)
  - TMS拡販、継続的な輸送品質の維持・向上及びインフラ強化により増加

## セグメント別業績

(億円)	2019年3月期	2020年3月期	前期比
<b>営業収益 合計</b>	11,180	11,734	105.0%
デリバリー事業	9,036	9,554	105.7%
ロジスティクス事業	1,315	1,358	103.2%
不動産事業	165	162	98.1%
その他の事業	663	660	99.6%
<b>営業利益 合計</b>	703	754	107.2%
デリバリー事業	554	587	105.9%
ロジスティクス事業	26	20	77.7%
不動産事業	71	78	110.7%
その他の事業	56	54	95.2%
調整額	△5	13	-

注記：億円未満切り捨て

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

### 《増収増益》

デリバリー事業

### 《減収増益》

不動産事業

### 《増収減益》

ロジスティクス事業

### 《減収減益》

その他の事業

## セグメント別業績概要

### デリバリー事業

- ・ 平均単価は適正運賃収受により上昇。取扱個数は消費税率の引上げの影響で上下したものの前期比微増
- ・ 働き方改革や輸送品質向上の取組みを継続。生産性向上によるコストコントロールを推進
- ・ GOAL®の取組み強化、TMS拡販、アライアンスによる高付加価値サービスの提供拡大

### ロジスティクス事業

- ・ 国内: 新規受託案件が堅調に推移し増収も、拠点の見直しによる費用増及び感染症の影響により物流が減少
- ・ 海外: 既存顧客の物量増加及び新規顧客の獲得によりフレイトフォワーディングの取扱い増加

### 不動産事業

- ・ 継続的な取組みとして保有不動産を売却(私募REITへの組入れ)

### その他の事業

- ・ 代引決済の減少、消費税率引上げ後の新車・中古車販売減少

注記 「GOAL」はSGホールディングス社の登録商標

## 連結キャッシュ・フロー計算書

主要キャッシュ・フロー項目 (億円)	2019年3月期	2020年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	867	535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△662	△615
フリーキャッシュ・フロー <sup>(2)</sup>	204	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275	△243
現金及び現金同等物の増減額	△68	△329
現金及び現金同等物の期末残高	1,017	687

注記：(1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

### ■ 連結キャッシュ・フロー

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フロー 535億円  
 主な内容： 税金等調整前当期純利益 794億円  
           減価償却費 230億円  
           たな卸資産の増減額（△は増加） 51億円  
           預り金の増減額（△は減少） △ 59億円  
           未払消費税等の増減額（△は減少） △147億円  
           法人税等の支払額 △251億円
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フロー △615億円  
 主な内容： 有形固定資産の取得 △534億円
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フロー △243億円  
 主な内容： 短期借入金の純増減額（△は減少） 170億円  
           長期借入金の返済 △237億円  
           配当金の支払 △171億円

## 連結貸借対照表

(億円)	2019年3月期末	2020年3月期末	(億円)	2019年3月期末	2020年3月期末
流動資産	2,981	2,708	負債	3,733	3,491
現金及び預金	1,017	687	買掛債務	647	627
営業債権及び その他の債権	1,559	1,559	有利子負債	1,314	1,317
棚卸資産	279	288	その他	1,771	1,546
その他流動資産	125	174	純資産	3,894	4,230
固定資産	4,646	5,013	親会社株主帰属分	3,557	3,839
有形固定資産	2,861	3,216	非支配株主持分	337	391
のれん	26	54	負債純資産合計	7,628	7,722
その他固定資産	1,758	1,741			
資産合計	7,628	7,722			

注記：億円未満切り捨て

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

9

### ■ 自己資本比率

- 自己資本比率：49.7%（前期末比+3.1ポイント）

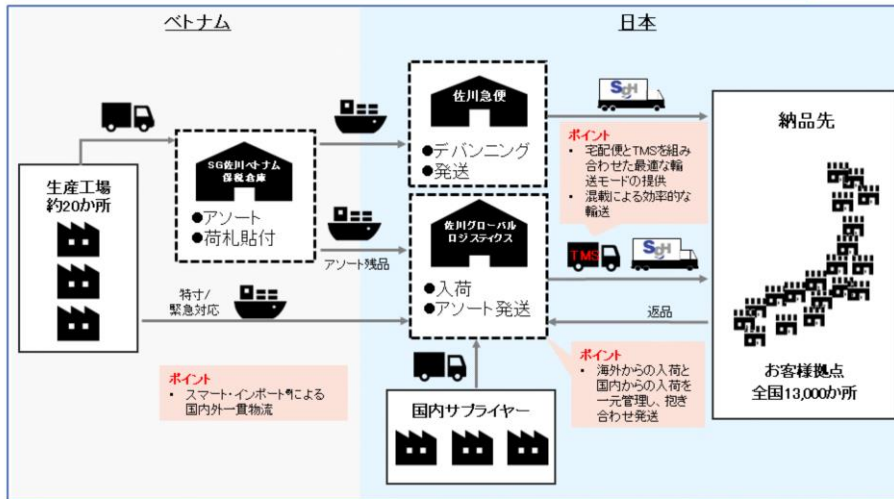
---

1.	2020年3月期 決算概要	1～9
2.	<b>2020年3月期の取組み</b>	<b>10～13</b>
3.	2021年3月期 業績予想	14～20
4.	参考資料	21～24

## 2020年3月期の取組み

### ● GOAL®の取組み

【事例】全国に点在する店舗向けのユニフォーム輸送 スマート・インポート®×全国配送



注記 「GOAL」、「スマート・インポート」はSGホールディングス株の登録商標

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

11

### ■ 事例：全国に点在する店舗向けのユニフォーム輸送 スマート・インポート × 全国配送

#### ● お客様の課題

- ① 約20か所の海外生産工場からの輸入
- ② 海外製品と国内製品の一体管理
- ③ 配送先が全国13,000か所に点在

#### ● GOALによる課題解決

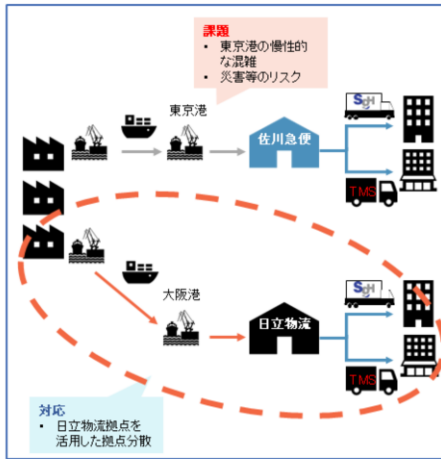
- ① スマート・インポート
  - SG佐川ベトナムの保税倉庫を活用したスマート・インポートにより、リードタイムを短縮し、コストを削減
- ② 国内倉庫の分散
  - 佐川グローバルロジスティクスの国内倉庫を活用し、在庫を一元管理
- ③ 宅配便×TMS
  - 宅配便とTMSを組み合わせた配送を提供し、運送コストを削減

## 2020年3月期の取組み

### ● アライアンスの取組み

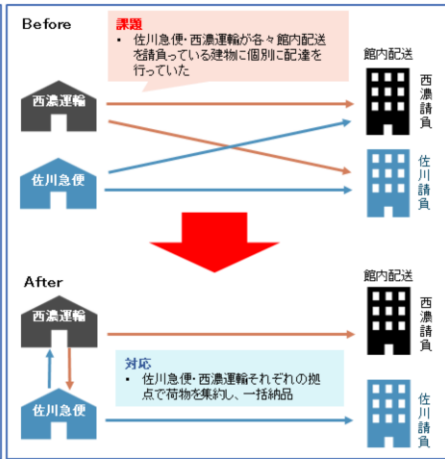
#### － ㈱日立物流との協創プロジェクト

##### 【事例】輸入港の分散



#### － セイノーホールディングス㈱との業務連携

##### 【事例】館内配送の共同化



Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

### ■ 協創プロジェクト事例：輸入港の分散

#### <従来>

東京港のみを輸入港として利用

⇒慢性的な混雑や、港を一つに限定することによる災害等での入荷遅延のリスク

#### <提案>

日立物流の拠点を活用し、新たに大阪港を輸入港とした体制を構築

⇒拠点の分散により、リードタイムを短縮するほか、BCP対応も実現

### ■ セイノーホールディングスとの取組み：館内配送の共同化

#### <従来>

佐川急便、西濃運輸がそれぞれ館内配送を請負う建物に対して、各々が個別に納品

⇒車両の集中による渋滞や待機時間の発生  
残業の増加、生産性低下

#### <取組み>

それぞれの荷物を双方で集約し、各々が請負っている建物へ一括納品

⇒車両集中の緩和、残業時間の抑制、生産性向上を実現



## 2020年3月期の取組み

## ● 感染症拡大防止対策（佐川急便）

## 施設内

## ①消毒



手洗い、うがい、マスク着用、アルコール消毒を徹底



施設の定期的なアルコール消毒の実施



次亜塩素酸水を携帯し、随時車両等の消毒を実施

## ②検温



出社時に非接触型の体温計で検温を実施

## ③3密の回避



点呼待機時に一定の間隔を空けて整列



点呼カウンターへ透明仕切りパネル等を設置

## 集荷・配達業務

## ①電子サイン停止



電子サインを伝票への押印・サインへ切り替え

## ②集荷予約の拡大



一括集荷により接触機会を削減

## ■ 感染症拡大予防対策（佐川急便）

## ● 施設内の取組み

- ① 消毒 : 手洗い、うがい、マスク着用、アルコール消毒を徹底  
次亜塩素酸水を携帯し、随時車両等の消毒を実施
- ② 検温 : 営業所では、出社時に全従業員に対し非接触型の  
体温計で検温を実施  
(発熱がある場合は直ぐに帰宅し医療機関にて受診)
- ③ 3密の回避 : 点呼待機時に一定間隔での整列を実施し、  
点呼カウンターへは透明仕切りパネル等を設置

## ● 集荷・配達業務における取組み

- ① 電子サイン停止 : 3月上旬より、スマートフォンへの電子サインを  
伝票への押印・サインへ切り替え
- ② 集荷予約の拡大 : 集荷予約対象日を拡大。一括集荷により接触機会  
を削減

---

1.	2020年3月期 決算概要	1～ 9
2.	2020年3月期の取組み	10～13
<b>3.</b>	<b>2021年3月期 業績予想</b>	<b>14～20</b>
4.	参考資料	21～24

## 2021年3月期の取組み

### 2019年度～2021年度 中期経営計画 Second Stage 2021

#### <経営戦略>

- ① 物流ソリューションの進化
- ② 経営資源の価値最大化
- ③ デジタル化の推進と最新技術の導入
- ④ グローバル事業の拡大
- ⑤ 組織・人材の高度化
- ⑥ ガバナンス強化

### 2021年3月期の取組み

#### デリバリー事業

- GOAL®を中心とした川上領域における事業拡大とTMS拡大推進
- 適正運賃収受の取組みの継続
- アライアンス強化による事業領域の拡大
- IT化による生産性向上
- 働き方改革の推進

#### ロジスティクス事業

- 海外3PLを含むサプライチェーン全体の機能強化・拡大
- グローバルフレートフォワーディングのネットワーク拡大
- ジャパンレーンを中心とした越境EC等サービスの拡大

#### 不動産事業

- 物流機能を強化する施設開発の推進
- 保有不動産の継続的な売却

#### その他の事業

- 物流附帯業務としてサービス品質の維持・向上
- 物流と連携した新たな機能・サービスの開発

注記: 「GOAL」はSGホールディングス社の登録商標

## 連結業績予想及び配当予想について

(億円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 業績予想	前期比	2022年3月期 業績見通し
営業収益	11,734	12,000	102.3%	12,300
営業利益 (営業利益率)	754 ( 6.4% )	785 ( 6.5% )	104.0%	800 ( 6.5% )
経常利益	805	825	102.4%	845
親会社株主に帰属する 当期純利益	472	485	102.6%	490
EBITDA	988	1,050	106.2%	1,090

※ 当社グループの2021年3月期の連結業績見通しは、感染症の拡大により先行き不透明感があるものの、足元の状況を踏まえて見込んでおります。  
また、当社の持分法適用会社である株式会社日立物流の2021年3月期の連結通期業績見通しを非開示としたため、中期経営計画で見込んでいた数値を参考に作成しております。

1株当たり	中間	22.00円	22.00円	-
配当金	期末	22.00円	23.00円	-

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2021年3月期業績予想の前提：デリバリー事業平均単価645円、取扱個数13.08億個

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

### ■ 2021年3月期の業績予想（前期との比較）

- 営業収益： + 265億円（102.3%）
- 営業利益： + 30億円（104.0%）
- 経常利益： + 19億円（102.4%）
- 親会社株主に帰属する当期純利益： + 12億円（102.6%）
- EBITDA： + 61億円（106.2%）

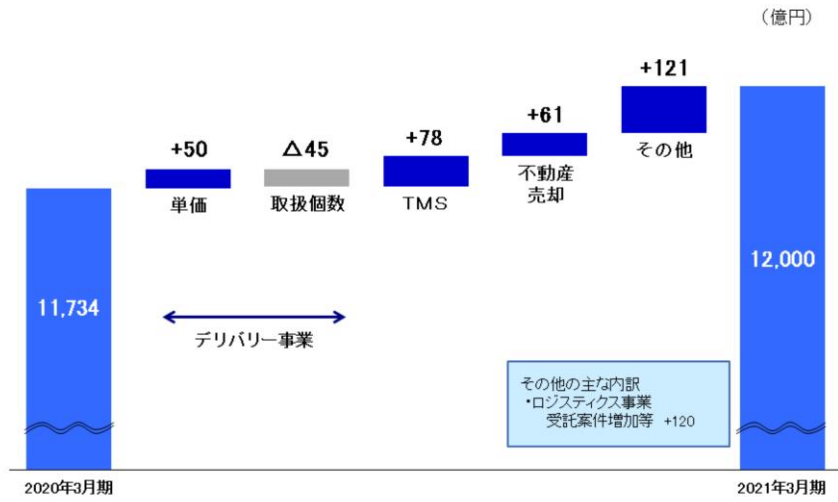
### ■ 2022年3月期業績見通しについて

2019年4月26日に公表した中期経営計画「Second Stage 2021」において、2022年3月期の経営目標を開示しましたが、2020年3月期の業績を踏まえ、見直しました。

	2019年4月26日公表 中期経営計画	差額
• 営業収益：	1兆2,130億円	+ 170億円
• 営業利益：	740億円	+ 60億円
• 親会社株主に 帰属する当期純利益：	455億円	+ 35億円
• EBITDA：	1,060億円	+ 30億円

※ 経常利益については、2019年4月26日に経営目標を開示しておりません。

### 営業収益予想の増減分析



注記: 億円未満切り捨て

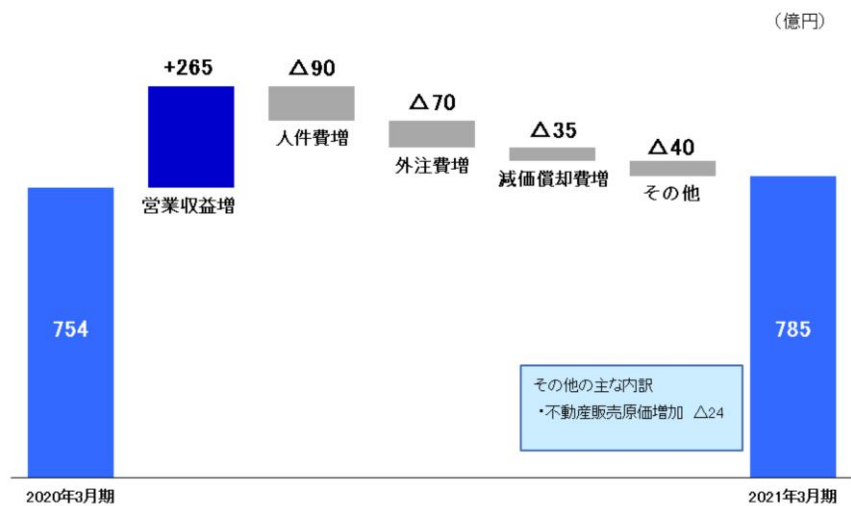
Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

17

### ■ 2021年3月期業績予想

- 平均単価 : 645円 (前期比 100.6%)
- 取扱個数 : 1,308百万個 (前期比 99.5%)
- TMS : 966億円 (前期比 108.9%)

## 営業利益予想の増減分析



注記: 億円未満切り捨て

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

18

### ■ 2021年3月期業績予想

- 営業収益 : 12,000億円 (前期比102.3%)
- 人件費 : 4,143億円 (前期比102.2%)
- 外注費 : 5,163億円 (前期比101.4%)
  - TMS拡販、継続的な輸送品質の維持・向上及びインフラ強化により増加
  - 生産性向上によりコストコントロール
- 減価償却費 : 266億円 (前期比115.1%)
  - 2020年1月末竣工の「Xフロンティア」が段階的に稼働

### セグメント別業績予想

(億円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 業績予想	前期比	2022年3月期 業績見通し
営業収益 合計	11,734	12,000	102.3%	12,300
デリバリー事業	9,554	9,635	100.8%	9,889
ロジスティクス事業	1,358	1,490	109.7%	1,600
不動産事業	162	225	138.6%	144
その他の事業	660	650	98.5%	667
営業利益 合計	754	785	104.0%	800
デリバリー事業	587	588	100.1%	628
ロジスティクス事業	20	29	140.6%	47
不動産事業	78	108	136.8%	61
その他の事業	54	46	84.9%	48
調整額	13	14	103.4%	16

注記：億円未満切り捨て

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved. 19

### ■ 2021年3月期のセグメント業績予想

#### 《増収増益》

デリバリー事業、ロジスティクス事業、不動産事業

#### 《減収減益》

その他の事業

### 連結業績予想(第2四半期累計)

(億円)	2020年3月期 第2四半期累計実績	2021年3月期 第2四半期累計業績予想	前年同期比
営業収益	5,877	5,870	99.9%
営業利益 (営業利益率)	371 (6.3%)	345 (5.9%)	92.8%
経常利益	389	355	91.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	219	210	95.7%

注記: 億円未満切り捨て

Copyright © 2020 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

20

#### ■ 2021年3月期第2四半期累計の業績予想 (前年同期との比較)

- 営業収益 : △ 7億円 (99.9%)
- 営業利益 : △ 26億円 (92.8%)
- 経常利益 : △ 34億円 (91.2%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : △ 9億円 (95.7%)



---

1.	2020年3月期 決算概要	1～ 9
2.	2020年3月期の取組み	10～13
3.	2021年3月期 業績予想	14～20
4.	<b>参考資料</b>	<b>21～24</b>

## 2020年3月期 商品・サービスの状況

### デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	前期比
	取扱個数 <sup>(1)</sup> 合計	326	329	346	312	1,315
飛脚宅配便 <sup>(2)</sup>	312	314	331	299	1,257	100.9%
その他 <sup>(3)</sup>	14	14	14	13	57	94.5%
平均単価	630	642	649	643	641	104.5%

### e-コレクト<sup>(4)</sup> 個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	前期比
	個数	22	22	22	19	85
決済金額	2,426	2,555	2,548	2,206	9,736	92.9%

### TMSの状況

(億円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	前期比
	売上高	207	229	235	214	887
(参考)前期差	+31	+36	+22	+21	+112	

注記: (1) 取扱個数は、当社グループの主要商品の取扱個数 (2) 飛脚宅配便は、佐川急便が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便及びその他の会社の取扱個数 (4) 「e-コレクト」はSGホールディングス株式の登録商標

## 2020年3月期 営業費用の内訳

### 連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	前期比
営業費用 合計	2,722	2,782	2,810	2,664	10,980	104.8%
人件費	1,003	1,026	1,007	1,016	4,053	104.2%
外注費(備車費含む)	1,242	1,295	1,353	1,202	5,093	106.7%
燃料費	27	29	28	23	109	95.3%
減価償却費	56	55	58	61	231	115.7%
その他経費	392	374	363	360	1,492	99.6%

### デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	前期比
営業費用 合計	2,301	2,356	2,404	2,276	9,340	105.4%
人件費	785	807	780	798	3,171	104.2%
外注費(備車費含む)	1,201	1,226	1,292	1,153	4,874	107.6%
燃料費	26	28	27	24	106	95.7%
減価償却費	37	38	39	42	158	114.2%
その他経費	250	254	264	258	1,028	99.3%

注記: 億円未満切り捨て

## 従業員・車両・拠点の状況

(人、台、店)		2019年3月期末	2020年3月期末
連結従業員数 (うちパートナー社員等 <sup>(1)</sup> )	合計	92,982 (43,722)	95,291 (43,928)
	デリバリー事業	56,020 (17,219)	58,732 (18,145)
	ロジスティクス事業	12,406 (5,682)	12,954 (5,995)
	不動産事業	64 (-)	69 (-)
	その他の事業	23,688 (20,548)	22,762 (19,551)
	全社(共通)	804 (273)	774 (237)
	佐川急便	車両台数	26,671
	主要な拠点数	833	857
	中継センター	24	24
	営業所	427	427
	小規模店舗 <sup>(2)</sup>	382	406

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

## ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、eコマース市場の低成長、開日立物流との資本業務提携のシナジーの未実現やディスシナジーの発現、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果とは必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておりません、また、これを保証するものではありません。